

午後Ⅱ試験

問1

出題趣旨

画像や話し言葉を理解する認識AI、画像や文章などを作成する生成AI、複数のシステムを連携させるRPAツールなどの先進技術を、クラウドサービスやソフトウェアパッケージなどで容易に利用できるようになってきた。それに伴い、認識と判断のデジタル化の難しさや費用対効果が著しく小さいなど、システム化が困難であり、従来人手によってしか実現できないと考えていた業務の、大幅な効率化や自動化を実現することが可能になった。システムアーキテクトは、先進技術を適用した情報システムの構築を推進する必要がある。

本問は、システム化計画の立案において、従来人手によってしか実現できないと考えていた理由、どのような先進技術をどのように適用して大幅な効率化や自動化を可能にしたのか、その適用の際に生じる様々な課題への対処方法について具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要なシステム化計画の立案能力を評価する。

問2

出題趣旨

企業などでは一定のリソースの下で大量データを効率的にバッチ処理することがある。バッチ処理では、大量データを処理すると処理時間が長い、オンライン処理との並行実施が必要、などの様々な課題が生じる。

システムアーキテクトには、業務の特性や制約に基づいて課題を解決することが求められる。課題を解決するためにはバッチ処理の設計を工夫することが必要である。また、エラーがあった場合に再処理できる仕組みを組み込んでおくことも求められる。

本問は、バッチ処理の設計について、具体的に論述することを求めている。論述を通じて、システムアーキテクトに必要な業務内容を把握する能力、及び要求事項に対して効果的な技術を適用する能力などを評価する。